

特定非営利活動法人 科学芸術学際研究所 ISTA 平成21年度活動報告書、
事業会計収支計算書、平成22年度事業計画書および事業会計収支予算書

平成21年度事業報告書 1

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書 2

平成22年度 事業計画書 4

特定非営利活動に係る事業収支予算書 7

平成21年度 事業報告書

平成22年4月11日

特定非営利活動法人 科学芸術学際研究所 ISTA
 代表 高木 隆司 印
 電話番号 048-456-7271

1 事業の成果

- 本年度は平成21年度 NPO 活動促進助成事業（チャレンジサポート事業）に採択された。開発した新しい科学おもちゃを使って3回のワークショップと「科学おもちゃの祭典」を開催した。
- チャレンジサポート事業と朝霞市生涯学習ボランティア活用推進事業の一環として、「科学おもちゃの祭典」での科学おもちゃの展示とワークショップおよび「サイエンティフィックアートの世界展」を開催した。
 - 照明ランプの開発：90面体、花型300面体に対応する照明制作した。結晶のような周期模様のできる仕組みを学ぶエッシャー模様作成ツールの開発を昨年に引き続き行っている。
 - ISTA サロン：「視覚障害者の為の触れる立体模型を開発するプロジェクトの活動紹介」講師 手嶋吉法、「植物の学名を知り、植物に親しむ」講師 田中 田中 田中の2件の学術講演会を行った。
 南西地域連絡会：「錯視」のワークショップおよび「サイエンティフィックアート」の小規模展示を行った。
 - ホームページの更新：ホームページサイト増設、更新などを行った。
 新会誌の2巻1号発刊：会員の研究記事を中心に ISTA 会誌を発刊した。NPO チャレンジサポート事業の一環として、「科学おもちゃの図鑑」を発刊した。
 - 国際会議：アメリカ障害者高等教育国際会議（AHEAD）に参加し、視覚障害者用模型の展示を行った。
 - ワークショップ1：新座市児童館キッズファクトリー「ポップアップ多面体」「万華鏡」（8月）、および同「雪の結晶成長シミュレーション」、「錯視」（12月）を NPO チャレンジサポート事業の一環として行った。
 ワorkshop2：NPO 法人朝霞手をつなぐ育成会と共催、東京学芸大学、東洋大学理工学部、ライフデザイン学部企画でワークショップ「夏休み体験教室 in 朝霞」を行った。
 ワorkshop3：NPO チャレンジサポート事業、朝霞市体験学習ボランティア推進事業「科学おもちゃの祭典」ワークショップ5件と科学おもちゃの展示を行った。
 - ISTA サロン、理事会、展覧会準備、ワークショップ企画会議および準備、など活動に ISTA 事務所を利用した。

2 特定非営利活動事業の実施に関する事項（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者 人数	受益対象者 範囲	対象者 人数	支出額 (円)
(1) 基礎研究支援、科学・芸術共同作業推進事業	「科学おもちゃの祭典」 「サイエンティフィックアート展」	2月	朝霞中央公民館ギャラリー	10名	小学生、中高校大学生、社会人	300名	491,993
(2) 学際協力「ものづくり」技術開発事業	新照明デザインの開発	通年	事務所	2名	社会人	100名 (予定)	70,361
(3) 研究成果の市民還元事業	ISTA サロン	5月 8月	コヒータム会議室 ISTA 事務所	8名 7名	視覚障害者 社会人	16名 15名	8,095
	南西地域連絡会	2月	朝霞市産業文化センター	5名	子ども、社会人	30名	
(6) ホームページ、会報編集などの広報事業	ISTA ホームページの作成と更新 新会誌編集・発行・印刷	通年	事務所	2名	Web 利用者 会員、市民	100名 100名	113,220
(7) 国際協力事業	障害者高等教育国際会議（AHEAD）展示	7月	The Galt House Hotel and Suites Louisville, Kentucky, USA	3名	国際会議参加者	500名	0
(8) 科学・芸術を組み合わせた体験学習事業	子どもワークショップ3件	8月, 12月	新座市児童館	6名	小学生	各15名	108,075
		8月(2回)	東洋大朝霞キャンパス	6名 9名	幼児、小中学生(障害児) 小学生、小中高大学生、社会人	15名 13名	
		2月	朝霞中央公民館ギャラリー	11名		100名	
(9) 団体活動場所提供などの援助事業	理事会、総会会場ワークショップ、展覧会など各種イベント準備、会誌編集、ISTA サロン開催など	通年	事務所	10名	会員、非会員、市民	45名	964,900

平成21年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

特定非営利活動法人 科学芸術学際研究所 ISTA

科 目	決算額 (右欄は小計)		合 計
I 収入の部			
1 入会金収入			
正会員 (個人)	4,000		
正会員 (団体)			
学生会員		4,000	
2 会費収入			
正会員 (個人)	139,000		
正会員 (団体)			
学生会員			
賛助会員 (個人)	10,000		
賛助会員 (団体)			
		149,000	
4 事業収入			
特定非営利活動に係る事業			
(1) 基礎研究支援、科学・芸術共同作業推進	460,000		
(2) 学際協力「ものづくり」技術開発	8,300		
(8) 科学・芸術を組み合わせた体験学習	0		
		468,300	
5 短期借入金	0		
		0	
6 寄付金収入	2,670,863		
		2,670,339	
7 雑収入			
雑収入	10,340		
預金利子	524		
		10,864	
当期収入合計 (A)			3,302,503
前期繰越金			128,328
収入合計 (B)			3,430,831

科 目	決算額 (右欄は小計)	合 計	
II 支出の部			
1 事業費			
(1) 基礎研究支援、科学・芸術共同作業推進	491,993		
(2) 学際協力「ものづくり」技術開発	70,361		
(3) 研究成果の市民還元	8,095		
(6) ホームページ、会報編集のどの広報	113,220		
(7) 国際協力	0		
(8) 科学・芸術を組み合わせた体験学習	108,075		
(9) (1) から (8) に掲げる活動を行う国内、国際団体との連携、団体運営に助言、団体提供活動場所のどの援助	964,900		
		1,756,644	
2 管理費			
事務人件費	0		
通信運搬費	93,570		
水道光熱費	71,084		
消耗品費	14,905		
旅費交通費	95,260		
会議費	12,462		
支払手数料	9,915		
設備・備品費	92,397		
		389,593	
3 前年度短期借入金返済	0		0
4 雑費	0		0
5 団体会員費	0		0
当期支出合計 (C)			2,146,237
当期収支差額 (A) - (C)			1,156,266
次期繰越金 (B) - (C)			1,284,594

平成22年度 事業計画書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人 科学芸術学際研究所 ISTA

1. 事業実施の方針

設立6年目である当年度は、昨年に引き続き、小中高校生の体験学習、ワークショップ、大学生、社会人を対象とした市民講座のほか、基礎科学研究、サイエンスアート制作の基礎技術、学際研究、芸術創作活動などを推進し、成果を学会、講演会、展覧会などを通して発表する。幅広い国民各層に根を下ろした学術・文化の基礎を築く事業計画を実施する。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	(1) 基礎研究支援、科学・芸術共同作業推進
事業内容	学術・芸術文化の向上を目的とした学際的な基礎研究、技術開発とそのアーティスト・研究者・技術者交流。サイエンスアゴラへ出展
実施予定日	平成22年11月
実施予定場所	「サイエンスアゴラ」科学未来館、国際交流会館（台場）
従事者の予定人数	8名 担当者：高木、石垣
受益対象者の範囲及び予定人数	500～600名（展覧会でのカタログ配布）
支出見込額	400,000円

事業名	(2) 学際協力「ものづくり」技術開発
事業内容	ゾーン多面体フロアライトの試作、3Dエッシャーモデルの改良。
実施予定日	平成22年4月～平成23年3月
実施予定場所	当事務所、理化学研究所
従事者の予定人数	3名、担当者：渡辺
受益対象者の範囲及び予定人数	不特定多数
支出見込額	100,000円

事業名	(3) 研究成果の市民還元
事業内容	ワークショップとこれにリンクして「ものづくり」の成果の展示を行い、サイエンスアートの概念を広める。
実施予定日	平成23年6月下旬 形の科学会シンポジウムフォーラムで ISTA 展にリンクしたワークショップ開催。学芸大学
実施予定場所	学芸大学 他
従事者の予定人数	フォーラム、ISTA展等：4名、担当者：高木、松浦
受益対象者の範囲及び予定人数	フォーラム：約40名
支出見込額	20,000円

事業名	(4) 「まちづくり」の推進
事業内容	朝霞生涯学習におけるワークショップ・展覧会開催、障害児ワークショップ開催、ISTA サロン講演会等
実施予定日	①平成 23 年 1 月 (生涯学習ボランティア活用事業ワークショップ) ②平成 23 年 7 月下旬 2 日間 (障害児ワークショップ) ③平成 22 年 4 月～平成 23 年 2 月 (ISTA サロン例会)
実施予定場所	①朝霞中央公民館 1 階ギャラリー (生涯学習ワークショップ・展覧会) ②東洋大学朝霞キャンパス (障害児ワークショップ) ③ISTA 事務所他 (ISTA サロン)
従事者の予定人数	①7 名 担当者：高野、吉野 (生涯学習)、②2 名 担当者：松浦 (障害児ワークショップ) ③2 名 担当者：渡辺 (ISTA サロン)
受益対象者の範囲及び予定人数	ワークショップは一回 15～20 名程度、他は不特定多数
支出見込額	30,000 円

事業名	(6) ホームページ、会報編集などの広報
事業内容	科学・芸術文化の総合情報誌 ISTA 会報発刊。ISTA ホームページの更新、改良
実施予定日	平成 22 年 4 月、9 月、第 2 巻、1 号 (4 月)、2 号 (10 月) 発刊予定。
実施予定場所	当事務所
従事者の予定人数	10 名、 担当者：渡辺 (会誌)、長江、吉野、石垣 (ホームページ)
受益対象者の範囲及び予定人数	500～600 名
支出見込額	100,000 円

事業名	(7) 国際協力
事業内容	海外での成果発表、国内外の研究者、NPO 活動家の招聘などを行い、市民レベルからの学術研究推進し、支援活動を行う。
実施予定日	ICCHP、国内で関連国際学会があれば参加する。
実施予定場所	オーストリア リンツ
従事者の予定人数	1 名 担当者：手嶋
受益対象者の範囲及び予定人数	300 名
支出見込額	0 (他機関の研究費より支給)

事業名	(8) 科学・芸術を組み合わせた体験学習
事業内容	小中校生の体験学習、ワークショップなどを通して、自然の仕組み、自然美を学び、実験、アートワーク造形などのものづくりによって、基礎的な学力、判断力、創造力を養う。
実施予定日	朝霞市博物館 8 月、新座児童館：8 月および 12 月
実施予定場所	朝霞市博物館、新座市児童館
従事者の予定人数	朝霞市博物館：3 名、 新座市児童館：2 名、担当者：池上
受益対象者の範囲及び予定人数	約 50 名 (新座児童館：15 名、朝霞公民館：30 名)
支出見込額	50,000 円

事業名	(9) 前各号に掲げる活動を行う団体活動場所提供などの援助
事業内容	市民講座など各種講習会・講演会開催、サイエンスアゴラ、ISTA 展とワークショップ準備
実施予定日	通年
実施予定場所	ISTA 事務所
従事者の予定人数	延べ人数 6名：担当者：事務局
受益対象者の範囲及び予定人数	約 50 名 (ISTA 会員、ISTA サロン講師、市民)
支出見込額	900,000 円

平成 22 年度 特定非営利活動に係る事業収支予算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人 科学芸術学際研究所 ISTA

科 目	予算額(右欄は小計)		合 計
I 収入の部			
1 入会金収入			
正会員(個人)	20,000		10 名
正会員(団体)	-		
学生会員	-	20,000	
2 会費収入			
正会員(個人)	120,000		40 名
正会員(団体)	-		
学生会員	-		
賛助会員(個人)	20,000		2名
賛助会員(団体)		140,000	
3 事業収入			
特定非営利活動に係る事業			
(1)基礎研究支援、科学・芸術共同作業推進	200,000		トリアコンタダイヤモンド
(2)学際協力「ものづくり」技術開発	10,000		レインボーキューブ
(3)研究成果の市民還元	30,000		生涯学習ボランティア活用事業
(4)「まちづくり」の推進	0		
(6)ホームページ、会報編集などの広報	0		
(8) 科学・芸術を組み合わせた体験学習	20,000		朝霞博物館、
		260,000	
4 短期借入金収入	0	0	
5 基金利息収入	1,500,000	1,500,000	
6 雑収入	0		
当期収入合計(A)			1,920,000
前期繰越金			1,284,594
収入合計(B)			3,204,594

Ⅱ 支出の部			
1 事業費			
(1)学術・芸術文化の向上を目的にした支援活動	400,000		サイエンスアゴラ
(2)学際協力「ものづくり」技術開発	100,000		照明ランプ制作
(3)研究成果の市民還元	20,000		ワークショップ
(4)「まちづくり」の推進	30,000		ワークショップ
(6)ホームページ、会報編集などの広報	100,000		会誌編集
(8) 科学・芸術を組み合わせた体験学習	50,000		木製水車制作 (朝霞博物館)
(9)(1)から(8)に掲げる活動を行う団体活動場所提供などの援助	900,000		賃貸料
		1,600,000	
2 管理費			
光熱費	100,000		
事務人件費	100,000		
通信費	100,000		
消耗品費	30,000		
旅費交通費	150,000		
会議費	20,000		
		500,000	
3 寄付金			
4 雑費	10,000		
		10,000	
5 外部団体会員費	6,000		
		6,000	
6 予備費	100,000		
		100,000	
7 前年度短期借入金返済	500,000		
		500,000	
当期支出合計(C)			2,716,000
当期収支差額(A)-(C)			-796,000
次期繰越金(B)-(C)			569,594